

PC 利用は高学年ほど拡大する一方、タブレットはどの学年も 3~4 割利用

～考えてみましょう！親子間のスマホルール～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

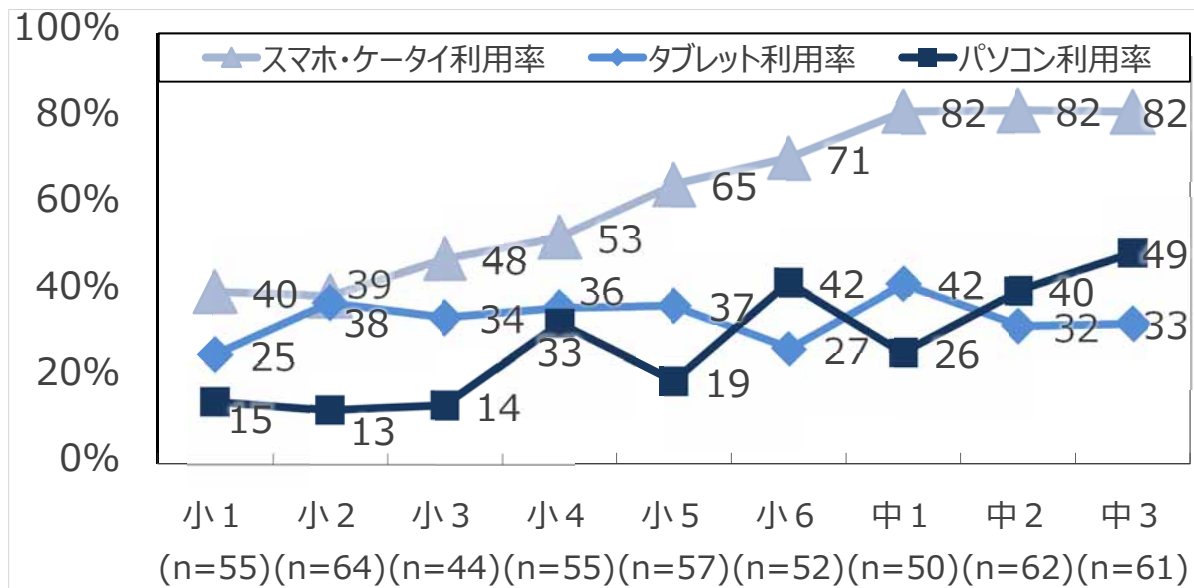
- ・小中学生のスマホ・ケータイ、PC 利用は学年が上がるにつれ拡大する一方、タブレット利用はどの学年も 3~4 割で学年差による大きな変化なし。
- ・小 3 から小 6 にかけて「スマホ・ケータイのみ」を利用している子どもが拡大し、中 2 から中 3 にかけて「スマホ・ケータイとパソコンのみ」利用している子どもが拡大。
- ・スマホ・ケータイ、タブレット、パソコンを全て利用する子どもは、いずれの学年でも 1 割程存在。

1. 調査結果：

1-1. 子どものスマホ・ケータイ、タブレットやパソコンの利用率

2020 年から全面実施される新学習指導要領では、小中学校におけるプログラミング教育の充実に加え、小学校での外国語教育の必修化や、中学校の外国語教育の充実もあり、PC やタブレットの利用が期待されています。そこで関東 1 都 6 県の小中学生に、家族などで共有しているものも含めたスマホ・ケータイ、タブレット、パソコンの利用状況を伺いました。その結果、スマホ・ケータイ利用率は小学 2 年生～中学 1 年生にかけて拡大しており、タブレット利用率はいずれの学年も 3 割～4 割で学年による変動が比較的少なく、パソコン利用率は小学 4 年生頃からやや拡大傾向がありました。

図 1. 子どものスマホ・ケータイ、タブレット、パソコンの利用率(MA・学年別)
[調査対象：関東 1 都 6 県在住の小中学生を持つ保護者が回答]



注 1：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。

注 2：スマホ・ケータイ利用率は、回線契約をしているスマートフォン・キッズスマホ・フィーチャーフォン・キッズケータイのいずれかを利用している子どもの割合。

注 3：パソコン利用率は、ノートパソコンかパソコンのどちらかを利用している子どもの割合。

1-2. 子どものスマホ・ケータイ、タブレット、パソコン利用の組み合わせ

続いて、子どものスマホ・ケータイ、タブレット、パソコンそれぞれの利用有無の組み合わせを見ると、小学 1 年生から小学 3 年生までは、「全て利用なし」がおおよそ 4 割～5 割と最も多く、小学 4 年生から中学 2 年生までは、「スマホ・ケータイのみ」を利用している子どもがおおよそ 3 割～4 割で最も多くなり、中学 3 年生では、「スマホ・ケータイとパソコンのみ」を利用している子どもが 3 割で最も多くなりました。

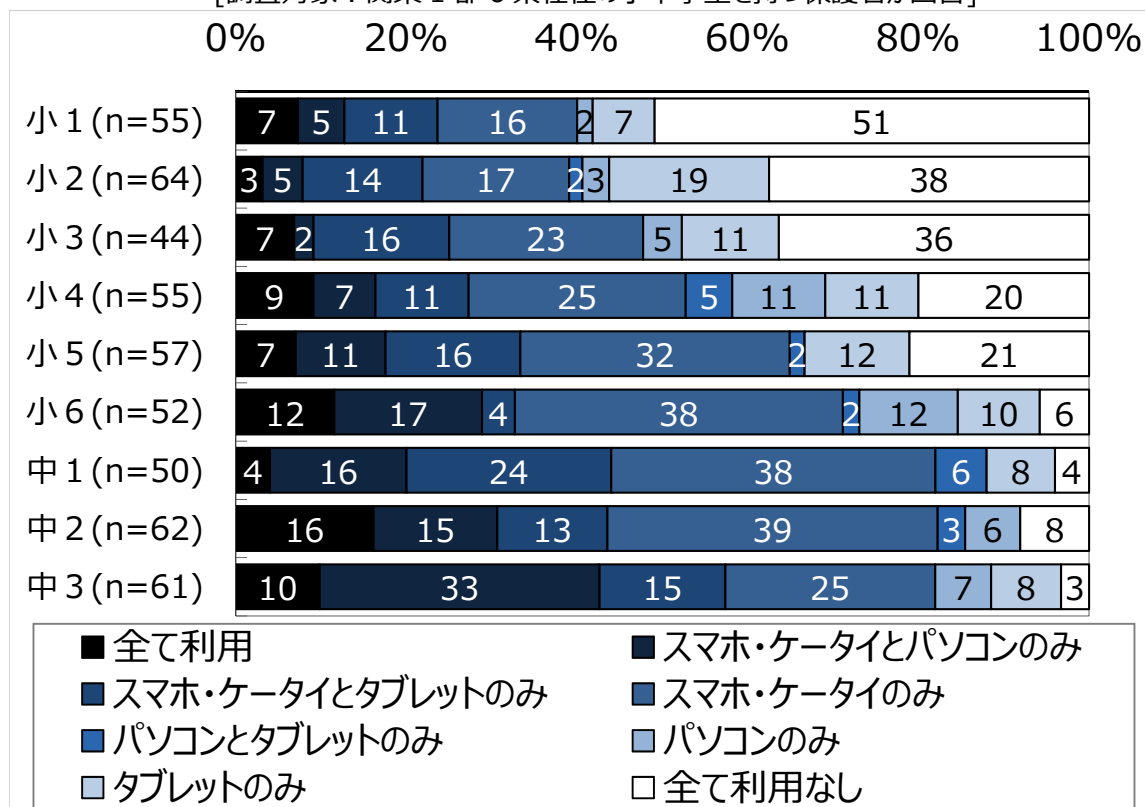
小学 3 年生から小学 6 年生までは、「スマホ・ケータイのみ」が拡大する一方「全て利用なし」が減少しており、また、中学 2 年生から中学 3 年生にかけて、「スマホ・ケータイとパソコンのみ」が拡大する一方「スマホ・ケータイのみ」が減少していました。

昨年の調査データがないため推察になりますが、小 3 頃から初めての ICT 端末としてスマホ・ケータイを

使い始め、中3頃にパソコンも利用し始めるという子どものグループが主流派を占めている可能性があります。その一方で、「全て利用」している層はいずれの学年でも1割程いるという結果となりました。

スマホ・ケータイのみならず、タブレットやPCについても、今後学校教育での利用が活性化するため、使い始めは親が関与し、親子間でコミュニケーションを深める機会としてはいかがでしょうか。

図2. 子どものスマホ・ケータイ、タブレット、パソコン利用の組み合わせ(MA・学年別)
[調査対象：関東1都6県在住の小中学生を持つ保護者が回答]



注1：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。
注2：スマホ・ケータイ利用率は、回線契約をしているスマートフォン・キッズスマホ・フィーチャーフォン・キッズケータイのいずれかを利用している子どもの割合。
注3：パソコン利用率は、ノートパソコンかパソコンのどちらかを利用している子どもの割合。

2. 調査概要

調査方法	訪問面接調査
調査対象	関東1都6県に在住する小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	500組
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7~9歳、10~12歳、13-15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2017年10月

小中学生の方が安心・安全にスマホを利用していただくためのガイドや、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記のURLで公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。

<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com